

平成26年度 茨城県中学校総合体育大会軟式野球大会

常総市立石下中学校 対 桜川市立桃山中学校

石下中 接戦を制し、関東大会出場を決める！

牛久市総合運動公園野球場 準決勝

第2 試合

チーム名	1	2	3	4	5	6	7	8	9	特1	特2	特3	計
常総市立石下中学校	0	0	0	1	0	1	0						2
桜川市立桃山中学校	0	0	0	0	0	0	1						1

【審判】 球審 一塁 二塁 三塁
 【投手-捕手】 常総市立石下中学校 投手 一捕手 中島 ー 小林
 桜川市立桃山中学校 投手 一捕手 齋藤 ー 荻原
 【長打】 二塁打 野村(石下), 山口(石下), 鈴木(桃山)
 三塁打
 本塁打

＜試合経過＞ 両エースの投げ合いとなった準決勝第二試合目。桃山中齋藤、石下中中島ともに球威十分のストレートとキレのある変化球を低めに集めて凡打の山を築き、三回終了時点で両チーム無得点。試合が動いたのは4回の表。石下中の先頭2番野村が左中間を破る二塁打で出塁し、続く3番吉原の送りバントで一死三塁。このチャンスに4番中島が初球スクイズを決め、石下中が1点を先制。5回は両チームとも無得点で試合が落ち着きを取り戻したように見えたが、6回再びゲームが動き出す。6回の表、石下中の攻撃。1番山口がレフト線へ二塁打を打ち、一死二塁のチャンスを作り、2番野村の送りバントで二死三塁。迎えた3番吉原は初球外角のストレートをスクイズ、高く弾んだボールの処理を桃山中齋藤があせり、三塁走者の生還を許し、石下中に追加点。リードを2点に広げた。対する桃山中は6回裏、3番鈴木がセンター前にヒットを打ち、処理がもたつく間に二塁をおとし入れる。4番荻原がライト前ヒットで続き、5番齋藤は四球を選び二死満塁として、石下中中島を攻め立てる。このチャンスに迎える打者は6番山田。粘りに粘ったが最後は三振に倒れ、桃山中はこの回無得点。中島は得点を許さなかった。何とか追いつきたい桃山中は、7回裏先頭7番千島が四球で出塁し、送りバント、ワイルドピッチで一死三塁のチャンスを作る。この場面で9番坂入が四球を選び、一死一三塁。1番中村の場面で石下中中島のパスボールで三塁走者が生還し1点差、なおも一死二塁と攻め立てたが、後続の二人が倒れ、桃山中無念の試合終了。石下中が関東大会出場を決め、本日の決勝戦に駒を進めた。

常総市立石下中学校										
打順	守備	選手	打席	打数	安打	打点	三振	四死球	犠打	盗塁
1	4	山口 修那	3	3	1	0	1	0	0	0
2	9	野村 廉太	3	3	1	0	0	0	0	0
3	6	吉原 俊人	3	3	1	0	0	0	0	0
4	1	中島 慶	3	3	0	0	2	0	0	0
5	7	長瀬 平	2	2	0	0	1	0	0	0
	H	堀田 雄流	1	1	0	0	0	0	0	0
	7	平塚 永遠	0	0	0	0	0	0	0	0
6	3	柴 秀平	3	3	0	0	2	0	0	0
7	5	吉原 溪	2	2	0	0	0	0	0	0
8	8	小野沢 和久	2	2	0	0	1	0	0	0
9	2	小林 史和	2	2	0	0	0	0	0	0
	計		24	24	3	0	7	0	0	0

投手	回数	アウト	打者	球数	被安打	奪三振	四死球	失点
中島 慶	7	21	30	111	5	4	3	1

桜川市立桃山中学校										
打順	守備	選手	打席	打数	安打	打点	三振	四死球	犠打	盗塁
1	8	中村 響基	4	4	0	0	1	0	0	0
2	4	齋藤 拓海	4	4	1	0	0	0	0	0
3	6	鈴木 一誠	3	3	1	0	0	0	0	0
4	2	荻原 龍真	3	3	1	0	0	0	0	0
5	1	齋藤 雄基	3	2	0	0	1	1	0	0
6	9	山田 真太郎	3	3	0	0	2	0	0	0
7	3	千島 涼平	3	2	1	0	0	1	0	0
	R	稲葉 春人	0	0	0	0	0	0	0	0
8	7	高久 蓮	2	1	1	0	0	0	1	0
	H	大関 勇輝	0	0	0	0	0	0	0	0
	H	荒山 竜人	1	0	0	0	0	0	1	0
9	5	坂入 幹基	3	2	0	0	0	1	0	0
	R	花木 祐太	0	0	0	0	0	0	0	0
	計		29	24	5	0	4	3	2	0

投手	回数	アウト	打者	球数	被安打	奪三振	四死球	失点
齋藤 雄基	7	21	25	75	3	7	0	2



チームコメント

石下中 沼田監督

石下中 主将